

令和 7 年 8 月 1 日

各 位

地 方 独 立 行 政 法 人
京 都 市 産 業 技 術 研 究 所
理 事 長 西 本 清 一
(担当：高石、岡崎)

ゼーゲル錐販売事業の終了について

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は京都市産業技術研究所の事業推進に当たり、格別のご配慮を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、平成 19 年にお知らせしておりますが、産技研（旧工業技術センター）が製造販売してきたゼーゲル錐につきましては、平成 21 年度末で製造を終了し、一定期間の継続販売を経て販売を終了することとなっております。ゼーゲル錐の販売は平成 28 年度に終了予定でしたが、少ないながらもニーズがありましたので、これまで販売を継続してまいりました。しかしながら、ゼーゲル錐は形状保持のために糊剤を使用しておりますが、その糊剤の経年劣化によって形が崩れやすくなる可能性があります。産技研が保有しているゼーゲル錐はすでに製造後 15 年以上が経過しており、形状保持に支障をきたすおそれがあるため、令和 8 年 3 月末日をもって販売事業を終了とさせていただくこととなりましたのでお知らせいたします。

現時点で在庫の少ない番手もございます。ご入用の方におかれましては早期のご購入をご検討いただきますようお願い申し上げます。在庫がなくなり次第その番手は販売終了となります。

また、代替品への切り替えにつきましては、通常の窯業技術相談と同様に引き続き対応いたします。販売終了に伴い業界の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

ゼーゲル錐販売事業の終了：令和 8 年 3 月末日

※ご不明な点等ございましたら下記問い合わせ先にご連絡ください。

(地独)京都市産業技術研究所 産業技術支援センター 高石、岡崎

TEL：075-326-6100（代表） FAX：075-326-6170

京都市産技研ゼーゲルとオルトンコーンの代替用参考データ

SK-No	各ゼーゲル錐溶倒温度（100℃/h）	
	京都市産技研ゼーゲル	オルトンコーン
4a		1179℃
5a		1207℃
6a		1211℃
7	1183℃	1232℃
8	1198℃	1252℃
9	1211℃	1271℃
10	1232℃	1290℃
11	1253℃	1301℃
12	1290℃	1324℃
13	1311℃	
14	1331℃	

※ 京都市産技研ゼーゲルの溶倒温度に近いオルトンコーンが代替品の目安となります。

（例）京都市産技研ゼーゲル SK-12 は溶倒温度が 1290℃、この溶倒温度に近いオルトンコーンは No. 10 であり、これが代替品となります。

※ オルトンコーンの自立型を使用する際は、熔けて棚板に付かない様ご注意ください。

■現在下記番手は在庫がございますが、在庫数の少ないものもございます。

SK-015a	SK-012a	SK-011a	SK-010a	SK-09a	SK-08a	SK-07a	SK-06a	SK-05a
SK-04a	SK-03a	SK-02a	SK-01a					
SK-1a	SK-2a	SK-3a	SK-4a	SK-5a				
SK-7	SK-8	SK-9	SK-10	SK-11	SK-12	SK-13	SK-14	SK-15

■注意事項

●令和 8 年 3 月末日をもって販売終了といたします。期日前に在庫がなくなればその時点で販売は終了となります。

●令和 8 年 4 月以降も代替品（オルトンコーン）への移行やその他の技術支援を引き続き実施してまいります。

皆様には、ゼーゲル錐の販売終了に伴う混乱が起こらないよう充分な対応を心がけますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(参考) ゼーゲル錐の販売事業の経緯

■ゼーゲル錐製造中止からの経緯

- 平成 19 年 9 月、製造中止の案内を配布。
- 平成 21 年度末をもって製造を中止。
- 平成 22 年度以降も販売については一定期間継続（各社に、代替品切り替えを依頼）。
- 廃止に伴う技術支援（代替製品との比較データを提供、及び代替製品利用の技術指導）の実施。
- 平成 23 年度、京都府外への販売規制を解除。
- 平成 28 年度で販売終了予定であったが少ないながらもニーズがあったため販売を継続。
- 販売実績について、平成元年～平成 5 年まで 5 万～4 万本、平成 6 年～平成 10 年まで約 2 万本、その後減少し平成 14 年～平成 17 年は約 1 万本で推移、平成 18 年は約 6 千本、以降も減少傾向。
- 近年では、令和 5 年度 1149 本、令和 6 年度 2580 本。